

三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.466 2022年4月4日
企画部 広報・CSR課

福岡市水素ステーション共同体組合員に決定 ～下水バイオガスから作った水素を地産地消に～



三菱化工機株式会社（代表者：田中利一 所在地：川崎市、以下「当社」という）は、このたび福岡市が募集していた「福岡市水素ステーション共同体組合員」に、当社を含めた5社が決定しましたので、お知らせします。



小型水素製造装置 HyGeia-A

平成26年度（2014年）に国土交通省の「下水道革新的技術実証事業（通称：B-DASH）」に採択され、福岡市中部水処理センターをフィールドに、下水汚泥を処理する工程で発生するバイオガスから水素をつくり、燃料電池自動車（FVC）などへ供給する世界初の水素ステーションの運営を実施してまいりました。福岡市は、この水素ステーションを軸に、水素エネルギー関連事業の振興を目的として、「水素リーダー都市プロジェクト」を推進されており、当社も計画段階から現在に至るまで、このプロジェクトに深く係り、福岡市様とともに水素社会実現に向けた取組に協力してまいりました。

今回、福岡市様は市民生活から排出される下水汚泥から「グリーン水素」を製造する施設の強化を目指し、水素のさらなる普及促進を加速するため、民間事業者と連携し共同で水素ステーションの運営・普及を行う目的で民間事業者の募集を実施いたしました。

その結果、応募資格を満たした、当社を含む5社が選ばれました。今後は、有限責任事業組合（LLP：以下、組合）を組成するための協議を行います。

【事業実施場所】

福岡市水素ステーション（福岡市中央区荒津2丁目2番1号）

【事業期間】

事業開始から令和9年（2027年）3月31日まで

【組合員（予定）】

- ・三菱化工機株式会社
- ・西部ガス株式会社
- ・豊田通商株式会社
- ・西日本プラント工業株式会社
- ・株式会社正興電機製作所

以上

お問い合わせ先